

## Tera-Term 設定方法

インストール方法は一般的なアプリケーション同等のため省略します。  
但し、インストールをする際に拡張子 `ttl` というマクロファイルを関連付けるかどうか指定する部分があるので関連付けを有効にしてください。



PC と USB （232C） 端末を接続後

Tera-Term を起動します。  
起動後通常ならこのエラー表示がでます。  
そのまま OK して下さい。



左上プルダウンメニューの「ファイル」から  
「新しい接続」を選択する。



シリアルポート `com*` を選択する。  
`Com*` が見えない場合は正しく接続できていない可能性があります。  
USB ドライバーは FTDI 用で Windows7 以後なら標準で入っていると思います。  
接続する USB ポートで `com` 番号が変わります

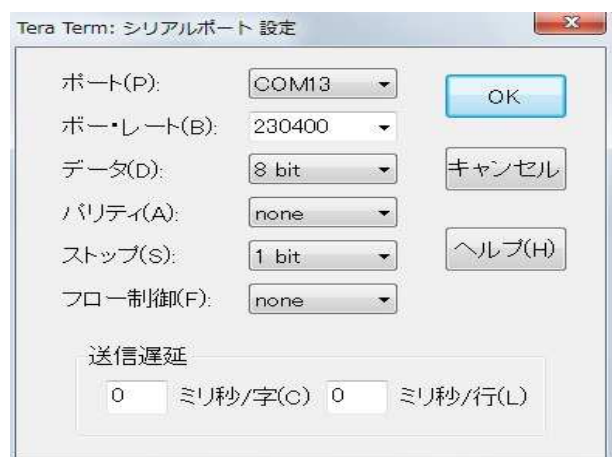
## 端末設定



COMポートが正常に接続できた場合、プルダウンメニューの「設定」を選択し「端末」を開きます。



送信を CR+LF にして下さい。  
受信は CR のみでも良いですが、  
データは CR+LF で出てきます。



COM 番号はお使いの PC に依存します。  
接続する USB ポートが変わると再設定が必要となります。

速度は 230400bps

データ 8bit

パリティ なし

ストップ 1bit

フロー なし

## データ一括送信



時計合わせ等に便利です。

プルダウンメニューの [ コントロール ] から  
[ ブロードキャストコマンド ] を指定します。



初期状態で リアルタイムにチェックが  
入っているのでそれを外します。

履歴はどちらでも良い。

**CRLF** 、 **Enter** キーにチェックして下さい。

時計合わせの場合は **aYYMMDDhhmmss** を  
入力してから 送信をして下さい。

```
2022/09/20 11:04:00, 1436, 24.4, 00
2022/09/20 11:05:00, 1435, 24.4, 00
220920110530 2022/09/20 11:05:31
2022/09/20 11:06:00, 1436, 24.5, 00
2022/09/20 11:07:00, 1436, 24.5, 00
2022/09/20 11:08:00, 1435, 24.6, 00
```

正常に送信されると左の様に

**220920110530** と送信され

(この数字は端末が受信したデータから  
a を抜いて送り返してきます)

続けて **2022/09/20 11:05:31** と

1 秒進んだ時間を返してきます。

これは時計を設定した後に時計から読み  
込んだ時刻です。

## ログファイルの設定



プルダウンメニューの[ファイル]から  
[ログ]を選択します。

ログファイルを作成するフォルダーや  
ファイル名を指定します。  
既にデータ受信がされている場合、  
現在のバッファを含むにチェックすると  
モニター上のデータもログに含まれます。  
データにタイムスタンプが無い場合  
タイムスタンプを付加する事も可能です。

ロギング中は左サブウィンドウが開いて  
います。  
閉じるでロギングを停止します  
通常は最小化して下さい。

途中でログの内容を確認する場合は  
プルダウンメニューの  
[ログを表示]で確認できます。  
表示を開始した時間までのデータで、  
追加データは表示されません。

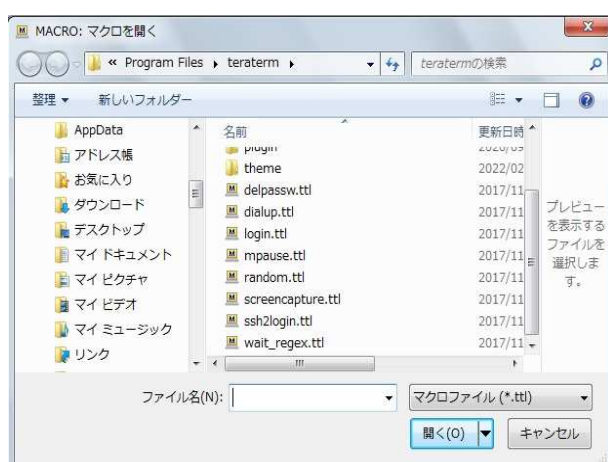
## マクロの実行



マクロを実行する事で時間による自動実行や受信データによる自動返信などが可能です。マクロはスクリプトプログラムです。

詳しくは **web** 上に専用サイトも公開されていますのでぜひご覧になって下さい。

〔マクロ〕を選択



マクロファイルを指定する。

(インストール時に関連付けされている事)

添付されている tAdj\_110530.ttl は

マクロ実行時に一度時刻合わせを行い、

その後は一日 1 回 11:05:30 に時刻合わせを行う仕様です。

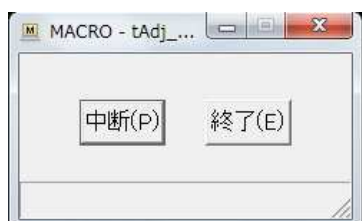
tera-term のフォルダーに保存してください。

実行しても画面上に変化はありません。

時刻は PC から引用しますので開始前に

PC の時刻を合わせて下さい。

テキストファイルですので編集可能です。



実行中は停止する場合は〔コントロール〕から〔マクロウィンドの表示〕を指定するとサブウィンドウが開きます。

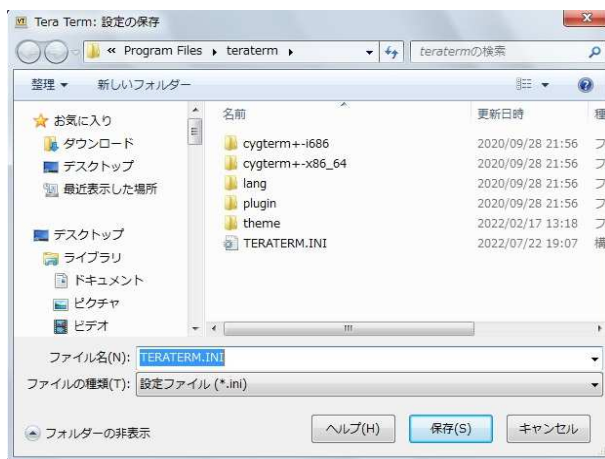
中断すると 次の開始表示に変わります。

また途中でエラーがあるとエラー表示して停止します。

## 設定の保存



以上の設定を保存する。  
プルダウンメニューの「設定」から  
「設定の保存」を指定する。  
設定を保存しても USB の接続ポートが  
変わった場合、最初のエラーは出ます。



保存先とファイル名を指定する。  
ファイル名はそのまま上書きで良い。

## ※ ご注意

機器と通信する場合、マウスカーソルが Tera-Term のウィンド内にある事を  
確認して、一度左クリックしてください。  
カーソルが点滅すれば通信可能です。